



平成26年度予算が成立

平成26年度予算を審議する、平成25年度3月定例会が開催されました。

一般会計は昨年度より21億円増の5421億円、特別会計は5653億円となり、408億円の増となりました。

全会計の規模 (単位:百万円)

	平成26年度	平成25年度	差し引き(H26-H25)	
			金額	伸率
一般会計	542,102	539,980	2,122	0.4
特別会計	565,343	524,552	40,791	7.8
企業会計	128,419	114,901	13,518	11.8
合計	1,235,864	1,179,433	56,431	4.8

歳入

『市税は19億円増の見込み』

- 個人市民税…株取引の増、税制の改正で均等割額の引き上げにより5億円の増
- 法人市民税…緩やかな景気回復、企業収益の改善が見込まれ11億円の増
- 固定資産税、都市計画税…地価下落の影響により5億円の減、設備投資などの減少により2億円の減、家屋の新増築により10億円の増
- たばこ税…売り渡し本数の増加が見込まれ2億円の増
- 環境未来税…リサイクルの進展によりゴミの搬入量減少で1億円の減

『地方交付税』

国からの仕送りに相当する地方交付税は805億円(対前年比-40億円)となりました。これは今年度市税等の増収が見込まれることが影響しています。この805億円のうち、交付税の振替債である臨時財政対策債が315億円(対前年比5億円の増)となっています。

『市債発行額は645億円』

平成26年度の市債発行額は645億円で、このうち臨時財政対策債は315億円、退職手当債は23億円となっています。

■市債残高

市債残高は1兆194億円と平成25年度に1兆円を超えてから、過去最高となっています。ただし、臨時財政対策債を除いた市債残高は、平成19年の8323億円をピークに、北橋市政の下で約600億円減少、平成26年度予算では7740億円となっています。



改めて“臨時財政対策債”について考える・・・

用語解説

臨時財政対策債(臨財債)とは、国の地方交付税への財源不足対策として、平成13年度に創設された地方債。その元利償還金相当額については、全額が後年度地方交付税で措置される。

つまり臨財債とは、国が本来地方交付税で配分すべき予算の不足分を、国が後年交付税を上乗せすることで支払うことを前提に、地方に借金という形で肩代わりさせている債権のことです。国が後年支払うということは、支払い金額分を交付税に上乗せして交付するということです。しかし、そもそも財源不足だから地方に配分することができない分を(分割するとはいえ)地方に肩代わりさせ、国は本当に返済することができるのか疑問です。

平成17年に722億円だった臨財債は、平成21年には1169億円、平成26年には2454億円と、市債に占める割合が年を追うごとに増加し続けています。市財源に不安を抱える中で、国が本当に返済金額として交付税を上乗せするのか、また地方債という位置づけから最終的に地方に押し付けられることがないか、という心配もあります。あくまでも国の制度ではありますが、地方の財源確保と、市債返済に関わる非常に重要な問題でもあり、今後とも注視して参ります。

市政課題を考える

老朽空家対策

高齢化と人口減少、人口の移動などにより高度経済成長期に建築された宅地が次々と空家になってきています。売却や建て替えが可能な土地であれば新たな活用もできますが、狭隘や、山あいにある宅地などは、建て替えが不可能であったり、相続の関係で所有者が複雑化するなど、家屋が著しく老朽化しているにも関わらず放置される物件が相次ぎ、全国的にも大きな問題となっています。

なぜ空家が増え続けるのか？

🏠 建築基準法

現在の建築基準法では、接道要件に見合わない建築物は解体しても新たに家を建てたり、大規模な改築を行うことなどが難しく、同様の理由で売却などもしづらいとのこと。

🏠 固定資産税

土地の上に家屋などが建設されていると、その土地にかかる固定資産税が減免される制度があり、廃屋であったとしても、建物がある限り減免され続けます。

こうした中であえて費用のかかる取り壊しを行い、減免が解かれるような状態になるメリットはなく、現在の制度面が取り壊しが進まない要因となっています。

🏠 複雑化する所有者

家屋の居住者や所有者等が死亡などにより、相続された所有者が不明であったり、遠方に居住もしくは所有権が分散することで、行政側からの通知や指導が行き届かない、という課題があります。

また個人情報保護の観点から、行政内部での情報のやりとりが制限されているため、老朽家屋所有者の特定が難しいという現状があります。

国や市の対応は？

昨年秋の臨時国会では、「空き家対策の特別措置法案」を提出する動きがあり、本市でも「老朽家屋等除却促進事業」がスタートしています。



「老朽家屋等除却促進事業」

昭和56年5月以前の建築で、家屋除去時に車両・重機などの使用が困難な地区で、建設機械の使用が困難なため、人力による除却で費用が割高になる家屋に対してその費用の一部補助を行うものです。

平成24年には27件、平成25年には21件が、この制度の利用により除却がすすみました。平成26年度には、予算の増額、現行制度の基準緩和、さらに行政窓口のワンストップ化、地域の実態調査、空き家バンクの創設等、本市は平成26年度を空き家対策元年と位置づけ、対策強化を行う事を今議会で明らかにしました。

さて、空き家対策については、私も初当選以来議会の中でその対策を急ぐよう提言し続け、独自に視察なども行い調査を続けて参りました。国においても「空き家対策の特別措置法案」が動き出し、市当局においても本格的な対応に動きだしています。

取り組みの中心に来るのは、まず「新たな空き家を増やさない」とこと、「危険な家屋」の除去を効率的に進める制度づくりの2点に絞った対策が急務であると考えます。今後はこうした点に絞って議会の中での議論を深めて参ります。



1 月

- 1日 元旦
- 6日 賀詞交歓会など
- 9日 党青年委員会会議
- 10日 市議会会派 団会議 条例勉強会
- 12日 北九州市消防出初表彰伝達式 各分団出初表彰伝達式
- 13日 地域どんと祭り
- 14日 糸島市議選応援
- 15日 党県連議員団会議総会
- 16日 ギラヴァンツ支援交流会 北九州青年会議所新年祝賀会
- 18日 党選対会議 ちいさいおうち共同保育園視察
- 19日 地域どんと祭り
- 20日 糸島市議選応援
- 21日 北九州PCB処理監視会議 傍聴
- 22日 PCB処理に関するパネルディスカッション
- 23日 党青年委員会
- 24日 市議会会派 団会議 環境建設委員会
- 25日 本城陸上競技場視察
- 26日 八幡西区総合防災訓練 穴生少年野球クラブ卒団式
- 29日 遠賀中間広域リレーセンター 視察
- 30日 九重町緑葉中学校 視察

2 月

- 1日 糸島市議選応援
- 3日 実技救命講習
- 5日 環境建設委員会 八幡餃子協議会 感謝の夕べ
- 7日 東九州自動車道建設促進会議
- 8日 環境もったいない作文表彰式 北九州マラソン2014前夜祭
- 9日 北九州マラソン2014ボランティア
- 10日 北九州市表彰式
- 12日 党県連 政策調査会
- 14日 市議会会派 団会議
- 15日 グラウンドゴルフ新年会 古典落語を守る会
- 16日 ギラヴァンツ応援
- 18日 2月定例会 会派別勉強会
- 19日 2月定例会 会派別勉強会
- 20日 2月定例会 会派別勉強会
- 21日 党福岡9区総支部常任幹事会
- 23日 トロッコ&チャレンジャー 聖小崎「鋼パーティー」ボランティア
- 24日 2月議会開会日
- 27日 党青年委員会
- 28日 和楽器の魅力 公演

3 月

- 1日 どうする子どもの貧困シンポジウム 北九州市体育協会創立50周年記念式典
- 2日 ギラヴァンツ応援
- 3日 2月議会 代表質疑
- 4日 2月議会 一般質疑
- 5日 2月議会 一般質疑
- 6日 2月議会 一般質疑 北九州市学童保育連絡協議会学習会
- 7日 2月議会 一般質疑
- 8日 青年委員会学生部企画
- 10日 2月議会 常任委員会
- 11日 2月議会 常任委員会
- 12日 2月議会 予算特別委員会 党総支部 選対会議
- 13日 2月議会 予算特別委員会
- 14日 2月議会 予算特別委員会
- 15日 穴生フェスタ 党福岡9区総支部常任幹事会
- 16日 トロッコ&チャレンジャー
- 17日 2月議会 予算特別委員会
- 18日 2月議会 予算特別委員会
- 19日 玄海原子力発電所 視察
- 20日 2月議会 市長質疑
- 24日 2月議会 常任委員会
- 25日 予算特別委員会 条例勉強会
- 26日 2月議会 閉会 若松競艇場視察
- 27日 党青年委員会
- 29日 鳥がさえる緑の回廊植樹会 介護施設開所式
- 30日 馬島清掃団

防災士の資格を取りました！

防災士とは、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして、NPO法人日本防災士機構に認定された方たちです。

防災士には、家庭・職場・地域のさまざまな場で多様な活躍が期待されています。その役割を大きく分けると、災害時の公的支援が到着するまでの被害の拡大の軽減、災害発生後の被災者支援の活動、平常時の防災意識の啓発、自助・共助活動の訓練、などがあります。

防災士講座では、避難所運営訓練や災害図上訓練など行うことができました。それらはいくまでも仮想訓練ですが、様々な状況を想定した訓練を行うことの重要性と日頃からの心構えがいかに重要かを学びました。今回防災士の資格を取るために学んだ貴重な経験を今後、地域や議会でも活かしていきたいと思えます。



水辺とふれあいプロジェクト 海岸周辺清掃の参加募集・ご案内

馬島清掃団では、ゴミ問題を解決するために「多くの方々に海岸・道路へ目を向けてもらおう！」という主旨から清掃活動を行います。

今回は、海岸周辺・道路等に漂着ゴミ・ポイ捨てが増えてきていることから、以下の日程・場所にて清掃活動を開催することとしましたのでご案内いたします。

市内外、年齢問いません(老若男女誰でも。)多くの皆様の御参加をお待ちしております。

- 清掃範囲：福岡県北九州市小倉北区馬島 市道・海岸周辺
 - 清掃時間：9：00～15：00(途中、昼食時間有り) ※悪天候、中止の場合あり。
 - 集合場所：北九州市小倉北区浅野3-9-1 小倉航路 乗り場前にて8：00～8：30受付 (専用駐車場がありませんので、近隣の民間有料駐車場をご利用ください。)
 - 参加者：先着50名(ボランティア保険加入・船舶団体申し込みの為、2週間前までにお申し込み下さい。)
 - 参加費：無料。但し、昼食は各自準備(島内には飲食施設・売店等がありません。)
- ※交通費(渡船代)等は、自己負担にてお願いいたします。

[参考] 小倉航路 運賃 小倉～馬島 大人：¥280 小児：¥140 ※料金は片道分です

◇実施予定日

- 【第1回】H26.5/11(日) 【第2回】H26.6/8(日) 【第3回】H26.7/6(日)
 【第4回】H26.9/7(日) 【第5回】H26.10/5(日) 【第6回】H27.3/15(日)

※雨天の場合は、中止となります。

※お手数をお掛け致しますが、諸事情により日時・場所等を変更する場合がありますので事前問合せをお願いします。

お問い合わせ・お申し込み先

馬島清掃団 事務局 担当：池本

〒804-0012 北九州市戸畑区中原東2-1-1-205(ニホン・ドレン(株)福岡営業所内)

TEL:093-873-3071 FAX:093-873-3072

E-mail:shinichi0830@mopera.net URL:http://clubwpj-f.jimdo.com/

【主催】馬島清掃団

【共催】特定非営利活動法人 KID's work、特定非営利活動法人 green bird、クラブワールドピース ジャパン 福岡支部

【後援】動海上保安協会 海守事務局、北九州市漁業協同組合馬島支所、(株)ケイエス企画、和料理・蓮花寺 さいと、よしみ工産(株)、九州チャーターサービス(株)、ニホン・ドレン工業(株) 福岡営業所、(株)ゼプロス

【協力】北九州市 青少年ボランティアステーション、北九州市 建設局道路サポーター、北九州市社会福祉協議会 北九州若者サポートステーション、北九州国際交流団体(キーネット)

キタQに
平成26年度

総我 夢中!!

No.21 燃費の巻

ガソリン価格も
じわりと上昇

消費税も8%に
なってる

そうなるよ

どつても
気になるのが燃費

AVG km/l
11.8

実は車の燃費が
悪くて家計を
圧迫しています

効率の良い
エコドライブを
心がけないと...

しかし、
問題は他にも
燃焼してない...
た、体重が!!

北九州マラソン 今年も開催へ



市政50周年を記念して開催された北九州マラソンが、平成26年度予算にも盛り込まれ、今年度も継続して開催されることが決定しました。

2月に行われた北九州マラソン2014には、市内外から1万3000人を超えるランナー、20万人を超えるボランティアが参加しました。

大会に参加したランナーからは、「雨は降っていたが、沿道で応援して下さいる方々に感動した」「行き届いた気持ちのよい大会だった」「ボランティアの皆さんの心配りなど、初めての開催とは思えなかった」など嬉しい声があり、本市のシティプロモーションに大きく寄与した大会となりました。

「北九州市内を電気バスが走る！」 ～ゼロエミッション交通システムがスタート～

3月26日、北九州市は“ゼロエミッション交通システム”による国内初の電気バスによる、商用運行を開始しました。

“ゼロエミッション交通システム”は、太陽光発電で作った電力を大型の蓄電池に蓄え、その電力で路線バスを走らせるもので、ボディにはボーイング787にも採用されているカーボンファイバーを採



用し軽量化を図っています。さらにこれまでの電池では充電1回あたりの走行可能距離が20km～30kmだったものが、今回は三菱重工の高性能リチウムイオン電池を採用し、充電1回あたりの走行可能距離が80kmと大幅に延びたそうです。



現在の“ゼロエミッション交通システム”まだ未完成の状

態で、本年10月頃には太陽光発電、来年4月頃には大型蓄電池がそれぞれ運用開始され、最終的には廃棄物ゼロで安定的に電気バスが運用されるようになります。このシステムが日本で普及すれば、響灘地区が日本側の輸入拠点となることが期待されているとのことで、今後が注目されます。



応援団活動支援の お願い

皆様へ

大久保むが応援団では、大久保むがの活動支援のため、応援会費(個人寄付)のご協力をお願い致しております。

ご協力を賜れる方は、下記お振込口座まで、お手続きくだされば幸いです。

今後とも、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

活動支援会費(個人寄付) 会費：1口 1,000円～

■ゆうちょ銀行

口座番号：17410-83659011

口座名義：大久保むが応援団

■福岡ひびき信用金庫 折尾支店

口座番号：1202105

口座名義：大久保むが応援団

※政治資金規正法により政治家個人は企業・団体からカンパ(寄付)を受けることができません。ご協力頂ける場合は「個人としての寄付」をお願いします。

※1年間1万円をこえる金額につきましては所定の手続きにより、確定申告の際に所得控除を受ける事ができます。

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属、民主党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's work」理事。平成26年2月、防災士資格を取得。



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
http://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanisi@mugamuga.net